

## 2 - 14 福島県東部におけるラドン観測（1983年）

### Radon Observations in the Eastern Part of Fukushima Prefecture

東京大学 理学部

脇田 宏・中村裕二・佐野有司

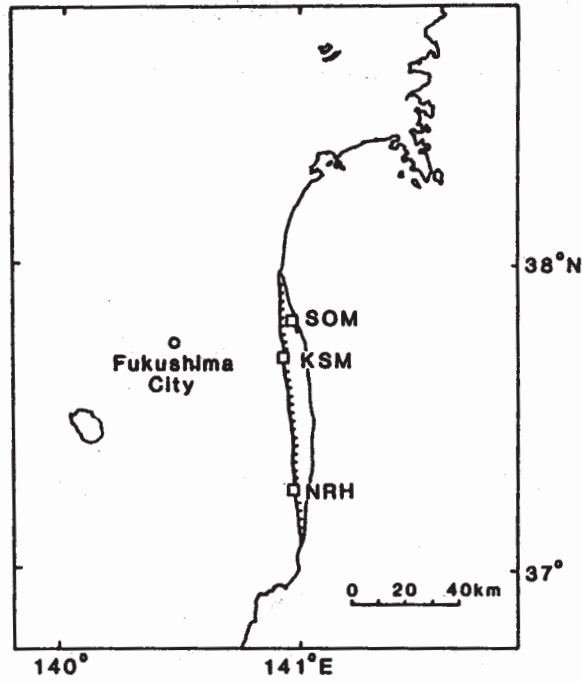
Hiroshi Wakita, Yuji Nakamura, Yuji Sano  
Faculty of Science, The University of Tokyo

前回<sup>1)</sup>にひきつづき、福島県東部における地下水中のラドン濃度の連続観測結果（1983年1月から1983年11月まで）を報告する。

観測地点を第1図に示す。第2図は、鹿島（KSM）、栖霞（NRH）における記録で、1時間毎のラドン濃度（積算値）の24点移動平均値を、この期間の平均値に対する相対値で示したものである。長周期の変動（年周変動）はKSM、NRHいずれも良く似ているが、年間を通じての変動幅はKSMで約±20%、NRHで約±5%である。また連続記録に見られる短周期の変動は、主として気圧変動による影響であり、KSM、NRHとも同期している。

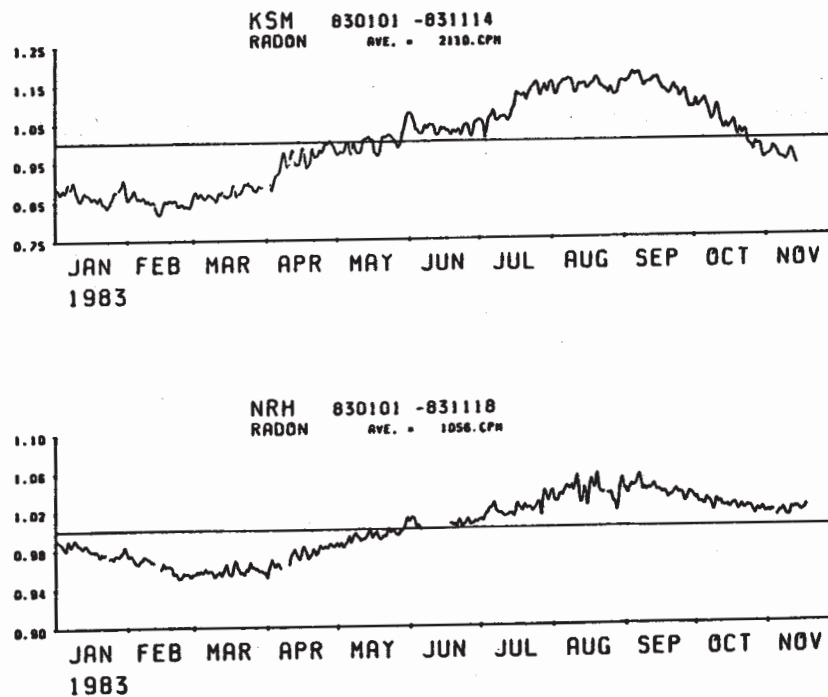
#### 参 考 文 献

- 1) 脇田 宏・中村裕二：福島県東部におけるラドン観測，連絡会報，**29**（1983），43-45.



第1図 福島県東部の地球化学観測点の位置

Fig. 1 Locations of geochemical observation sites in the eastern part of Fukushima prefecture (SOM: Soma, KSM: Kashima and NRH: Naraha).



第2図 KSM (鹿島), NRH (栖葉)における地下水中のラドン濃度の変化 (1983年1月~1983年11月)

Fig. 2 Temporal variations in the radon concentration in groundwater at KSM (Kashima) and NRH (Naraha). (January, 1983 - November, 1983)